

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-155402

(P2002-155402A)

(43)公開日 平成14年5月31日(2002.5.31)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
A 41 B 9/06  
9/12  
A 41 D 27/20

識別記号

F I  
A 41 B 9/06  
9/12  
A 41 D 27/20

テ-マ-ト\*(参考)  
E 3 B 0 2 8  
Z 3 B 0 3 5  
N  
K

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願2000-396249(P2000-396249)

(22)出願日 平成12年11月20日(2000.11.20)

(71)出願人 598063959

米田 良雄

大阪府高石市東羽衣6-1-32

(72)発明者 米田 良雄

大阪府高石市東羽衣6-1-32

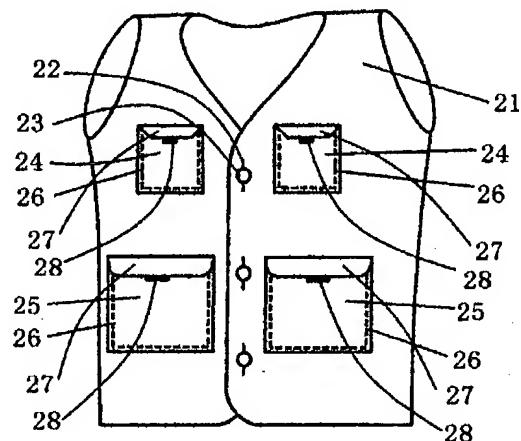
Fターム(参考) 3B028 FB04 FB08 FC07 JB02  
3B035 AA17 AB02 AC21

(54)【発明の名称】 防水ポケットを付けた下着や専用下着及び内側に防水ポケットを付けた上着やズボン

(57)【要約】

【目的】携行品を汗によるトラブルからまもり、手軽で安全に携行出来る下着や専用下着及び上着やズボン等を提供する。

【構成】下着もしくは補強した下着もしくは専用下着の表または内側、或いは上着やズボンの内側に防水ポケットを非着脱式もしくは着脱式に取り付ける。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】防水ポケットを付けた下着もしくは補強して防水ポケットを付けた下着。

【請求項2】布もしくは網もしくは格子等で、或いはこれらを組み合わせて任意の専用型に作り防水ポケットを付けた専用下着。

【請求項3】内側に防水ポケットをつけた上着やズボン。

【請求項4】着脱式に取り付けたポケット。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は防水ポケットを付けた下着（肌着及び通常上着の下に着るもの）や専用下着及び内側に防水ポケットをつけた上着やズボン等に関する。

## 【0002】

【従来の技術】現代人は携行品が多い。特に海外旅行時などパスポート、航空券、保険証や地図、財布やカード入れ或いはカード状の計算機やラジオ、電子辞書、そのほかにも多くのものを携行する。これらは紙や皮革もしくは精密電子製品が多く、いずれも汗の湿気や水気が大敵である。もし、湿ったり濡れたりすると破損、汚損、発臭、変色、色移り等のトラブルとなり、電子危機では不調や故障の原因となる。従って、これらを汗から護り安全に携行することは相當に面倒である。

【0003】通常、下着類にはポケットが無いため、これらの携行品を上着やズボンのポケットに詰め込む人が多いが、入れ過ぎると不格好であり紛失や盗難の危険が大きく、時に、上着の内ポケットやズボンの尻ポケットにいれていたものが汗に濡れて困ることもある。また、まとめてバッグに入れておく人もいるが、万一小袋を紛失したり盗難にあうと多くのものを一度に失うことになり危機管理上問題である。このため、従来、安全な携行方法として腹巻き或いは布や網製の首から下げるセーフティバッグ等が使用されることが多い。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、腹巻きは出し入れにひんしゅくを買うことが多く、かつ、汗によるトラブルも避けがたい。セーフティバッグはスーツなど上着のすぐ下につけるとラブランして見えたり外に飛び出して不安定、不格好である。そのためカッターシャツなど下着の下につけると、やはり汗によるトラブルを招き易い。この発明はこれらに鑑みて、携行品を汗によるトラブルから護り、かつ、手軽で安全に携行出来るポケット付き下着や専用下着及び上着やズボン等を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】そのためこの発明はポケット付き衣類の防湿防水に着目するが、衣類全体を防湿防水にすると、発汗しやすく蒸れて着心地も悪くなるた

2

め必要な箇所のみを防湿防水にする。即ち、下着または専用の下着の表もしくは内側、或いは上着やズボンの内側に防水ポケットを非着脱式もしくは着脱式に取り付けたものである。

【0006】ここで、防水ポケットとはポケットの身体側もしくは全面の布に防水加工を施したもの、身体側もしくは全面を防水布で作ったもの或いは身体側もしくは全面に防水性の布や膜を張り合わせたものなど防水機能を備えたポケットのことである。また、非着脱式に取り付けるとは縫製や接着剤で取り付けることであり、着脱式に取り付けるとはホック、ジッパー、ボタン或いはマジックテープ（登録商標）などで取り外しできるように付けるのが主であるが、紐等で取り付けることも可能である。

【0007】一例をあげて具体的に説明すると、例えばTシャツの左右の胸に小さな蓋無しポケットを一つづつと左腹部のベルトより上になる位置に大きめの蓋付きポケットを一つ縫いつけ、各ポケットの全面を防水スプレー等で十分に処理するとこの発明のシャツとなる。しかし、下着類は生地が余り丈夫で無いものが多く、ポケットに詰め過ぎたり重い物をいれたりすると型くずれして、だらしなくなる恐れがある。このような場合には、必要な強度を持つ生地で下着類を作れば解決できるが、補強することも出来る。例えば、下着類の表もしくは裏側に、片方の肩もしくは両肩から下方にかけて補強するのに適当な強度と形の布を縫い付けて防水ポケットを取り付ける。或いは格子状や網状等に（格子状や網状等の）補強材を縫いつけて防水ポケットを取り付ける。

【0008】また、非防水布もしくは網や格子状等の材料を単独もしくは組み合わせて片方の肩もしくは両肩から下方にかけて、体になじむように作った着衣に防水ポケットを取り付けると専用下着として使用出来る。

## 【0009】

【作用】このポケットは防水処理した布もしくは防水布もしくは張り合わせた防水膜が、常に身体から出る汗の湿気や水分、或いは不時の雨などの外からの湿気や水分も遮断して内部への侵入を防ぐ。

## 【0010】

【実施例】実施例について図面を参照して説明する。図1の実施例では、Tシャツ1の左の胸に全面防水布の小型蓋無しポケット2、右の胸に全面防水布の小型蓋付きポケット3及び左腹部のベルトより上になる位置に全面防水布の大型蓋付きポケット4をミシン目5で縫いつける。ポケット3及び4の蓋6はマジックテープ7で開閉する。

【0011】図2の実施例では、Tシャツ1の表にテープ状の補強材12を縦横に縫いつけて補強し、補強材の一部にホックの片方13を縫いつける。左の胸に全面防水布の小型蓋無しポケット14、右の胸に全面防水布の小型蓋付きポケット15をミシン目16で縫いつけ、

更に左腹部のベルトより上になる位置に全面防水布の大型蓋付きポケット17を裏側に縫いつけたホックの対片でホックの片方13に着脱式に取り付ける。ポケットの蓋18はマジックテープ19で開閉する。

【0012】図3に示した実施例では、専用の下着21は腰のベルトの位置までの長さで、ボタン穴22にボタン23を止めて着用する。左右の胸に全面防水布の小型蓋付きポケット24、左右の腹部に全面防水布の大型蓋付きポケット25をミシン目26で縫いつける。ポケットの蓋27はマジックテープ28で開閉する。

### 【0013】

【発明の効果】このポケットは防水性であるから汗の湿気や水分を遮断し、紙や皮革製品が汗で湿ったり濡れたりして破損、汚損、発臭、変色や色移り或いはかびたりするのを防ぐ。特に最近の携帯用電子機器は軽量小型で微細回路を採用しており、汗の湿気や水分は大敵であるが、このポケットはそれらを遮断して不調や故障となるのを防ぐ。なお、防水部分はポケットだけであり、他の部分は通気性や風合いに変化はなく、特別に汗がこもって蒸れたりすることは無い。

【0014】これらの特徴のため、従来、汗によるトラブルを恐れてほとんどポケットが付けられなかった下着類にも、このポケットであれば汗を恐れること無く自由に多数取り付けることが出来る。従って、携行品を一枚

もしくは複数の下着に取り付けた幾つかのポケットに分散収納すれば、相当多くのものを携行出来、しかも、汗への心配や置き忘れたりする恐れは無く、かつ、盗難にあう危険も極めて少なくなる。また、着脱式ポケットは不要の時は取り外しておくことが出来、携行品の形や大きさ或いは目的や気分によって、形や大きさ、材質や柄など好みのポケットに取り替えることが出来る。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】全面防水布ポケットを付けたTシャツ。

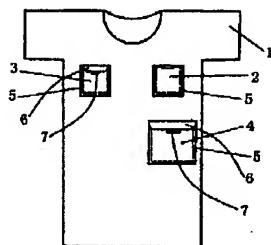
【図2】全面防水布ポケットを付けた補強Tシャツ。

【図3】全面防水布ポケットを付けた専用下着。

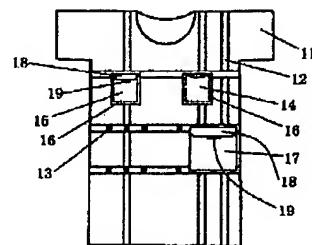
### 【符号の説明】

- 1、11 Tシャツ
- 2、14 小型蓋無しポケット
- 3、15、24、 小型蓋付きポケット
- 4、17、25 大型蓋付きポケット
- 5、16、26 ミシン目
- 6 18、27 ポケットの蓋
- 7、19、28 マジック テープ
- 20 12 テープ状補強材
- 13 ホックの片方
- 21 専用の衣類
- 22 ボタン穴
- 23 ボタン

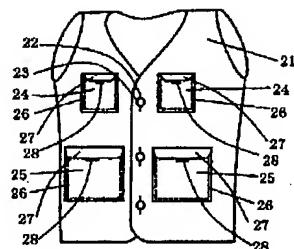
【図1】



【図2】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 2002-513236

DERWENT-WEEK: 200255

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Undergarments has reinforced and integrally attached waterproof pockets for specific items

PATENT-ASSIGNEE: YONEDA Y [YONEI]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0396249 (November 20, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC JP 2002155402 A A41B 009/06	May 31, 2002	N/A	003

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2002155402A 20, 2000	N/A	2000JP-0396249	November

INT-CL (IPC): A41B009/06, A41B009/12, A41D027/20

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002155402A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Several waterproof pockets (24,25) are reinforced and attached at predetermined locations of undergarments.

DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are included for the following:

- (1) Exclusive undergarments attached with waterproof packets; and
- (2) Coat and trousers attached with waterproof of packets.

USE - For passengers to carry articles like air tickets, insurance proof, map, wallet, calculator, radio, electronic dictionary and insertion cards.

ADVANTAGE - Damage to carrying articles is prevented due to waterproof characteristics of pockets. Form, size and material design of pockets can be varied accordingly to size of objects to be carried. Theft is prevented due to provision of pockets in undergarments.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows an exclusive undergarments which is attached to whole surface of waterproof cloth pocket.

Waterproof pockets 24,25

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/3

TITLE-TERMS: UNDERGARMENT REINFORCED INTEGRAL ATTACH WATERPROOF POCKET SPECIFIC ITEM

DERWENT-CLASS: P21

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-406119